

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和2年1月29日

三田市議会議長 福田秀章 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	印
		議員名	
派遣者氏名			
視察先及び 調査事項 (調査目的)	徳島県 名西郡神山町神領字中津 132 番地 神山町農村環境改善センター内 NPO 法人グリーンバレー (檜田) 徳島県徳島市幸町 2-5 : 徳島市役所 (美藤) 徳島県阿南市富岡町トノ町 1 2-3 : 阿南市役所 (佐々木)		
日 時	令和2年1月21日(火) ~ 令和2年1月23日(木)		
視察先対応者	別添参照		

調査日時 令和2年1月23日(木) 午前10時00分～11時30分

視察先 徳島県阿南市富岡町トノ町12-3 阿南市役所

調査事項 ◎「野球のまち推進課」

(調査結果の概要及び所見)

野球のまち阿南の推進について

【概要】

地域で盛んな野球でまちおこし「野球のまち阿南構想」のプロセスと成果について最初になぜ野球なのか

市内には約90チームが活動していて、中高年齢のチームが多いのが特徴で、還暦野球チームだ10チームもあるそこで、平成17年の長野県上田市で行われた「お父さんの甲子園・全日本生涯野球大会」の視察を行った。その後視察内容について市長に報告をして、野球による町おこしについて相談をした。そのなかで、野球は国民的スポーツであり、比較的高齢でもできることもあり高齢化社会に合致しているなどの理由により、野球でのまちおこしを行うこととなった。

組織体制づくりの取り組み

平成19年3月に阿南市長が「野球のまち阿南構想」を発表、同年5月に待望の本格的野球場「アグリあなんスタジアム」が完成した。その年の6月には市内100団体からなる「野球のまち阿南推進協議会」を設置した。その後、平成22年4月に市産業部に「野球のまち推進課」を設置した。

プロ野球よりも草野球・草野球ほど儲かるものはない

地域の特性に合った事業とは何かを考え、人口7万5千人の四国の南東の端にある市には、プロ野球は出来ない。なぜなら、プロ野球の誘致には施設の整備に莫大な費用がかかる。また、プロ野球の合宿は長くて3週間、1年続く事業が目標であることから、盛んな野球を活かして還暦・早起き・少年野球大会等を最大宿泊人員である500人に合わせて計画をした。

野球のまち推進事業とは

集客に繋がる野球大会を実施した。

- ・西日本生涯還暦野球大会 毎年4月 主催：市生涯連盟
- ・プライドジャパン甲子園 毎年6月 主催：市あかつき連盟
- ・少年野球全国大会 毎年7月 主催：推進協議会
- ・高校新人交流戦 毎年6月 主催：高野連阿南支部
- ・長時間野球大会 毎年8月 主催：推進協議会

- ・西日本あかつき大会 毎年10月 主催：市あかつき連盟
- ・徳島県500歳野球 毎年10月 主催：阿南市
- ・キャッチボールクラシック県予選 毎年11月 主催：阿南市

合宿の誘致とそれらのフォローができるように、大学や社会人野球の誘致に始まり、北信越地区選抜出場校など積極的に誘致を行った。

また、チームでの参加ができる仕掛けとして、野球観光ツアーを提供して、一泊二日で交流試合2試合、歓迎交流会等を行い、参加者にあつた対戦チームも市で用意して、もちろん審判や場内アナウンスもついで、電光表示も行いました、スピードガン測定も行っていました。

そのほかにもいろいろな事業や誘致も数多く行い、野球で活気ある市に育て上げていた。

【所見】

これらがそのまま三田市に当てはまるものではありませんが、できる内容は多くあるので、提言をしていきたいと考えています。

(添付資料) 一式